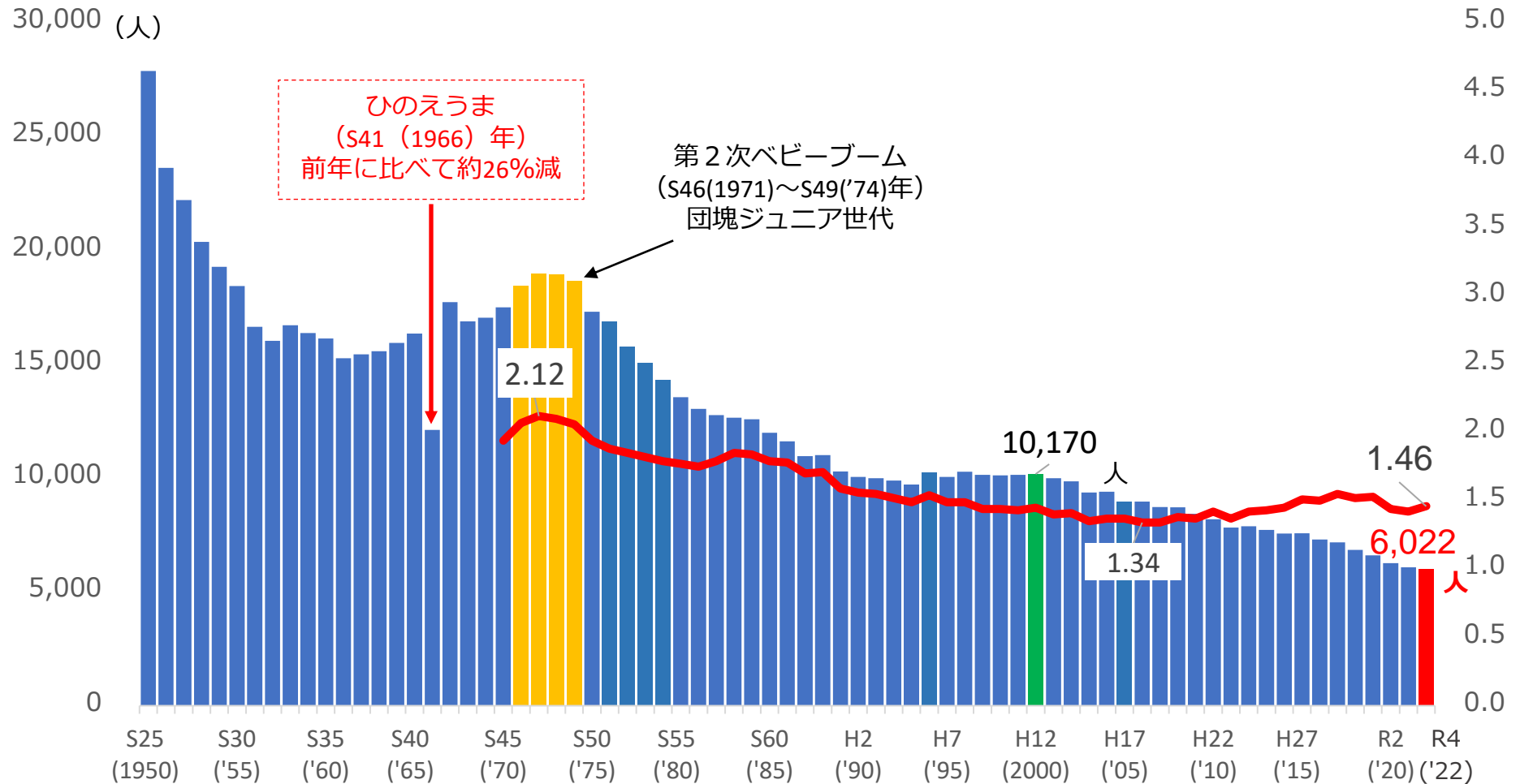


○本県の出生数（図1）は、年々減少しており、令和4年には6,022人と過去最少となっている。

図1 出生数・合計特殊出生率の推移（富山県）

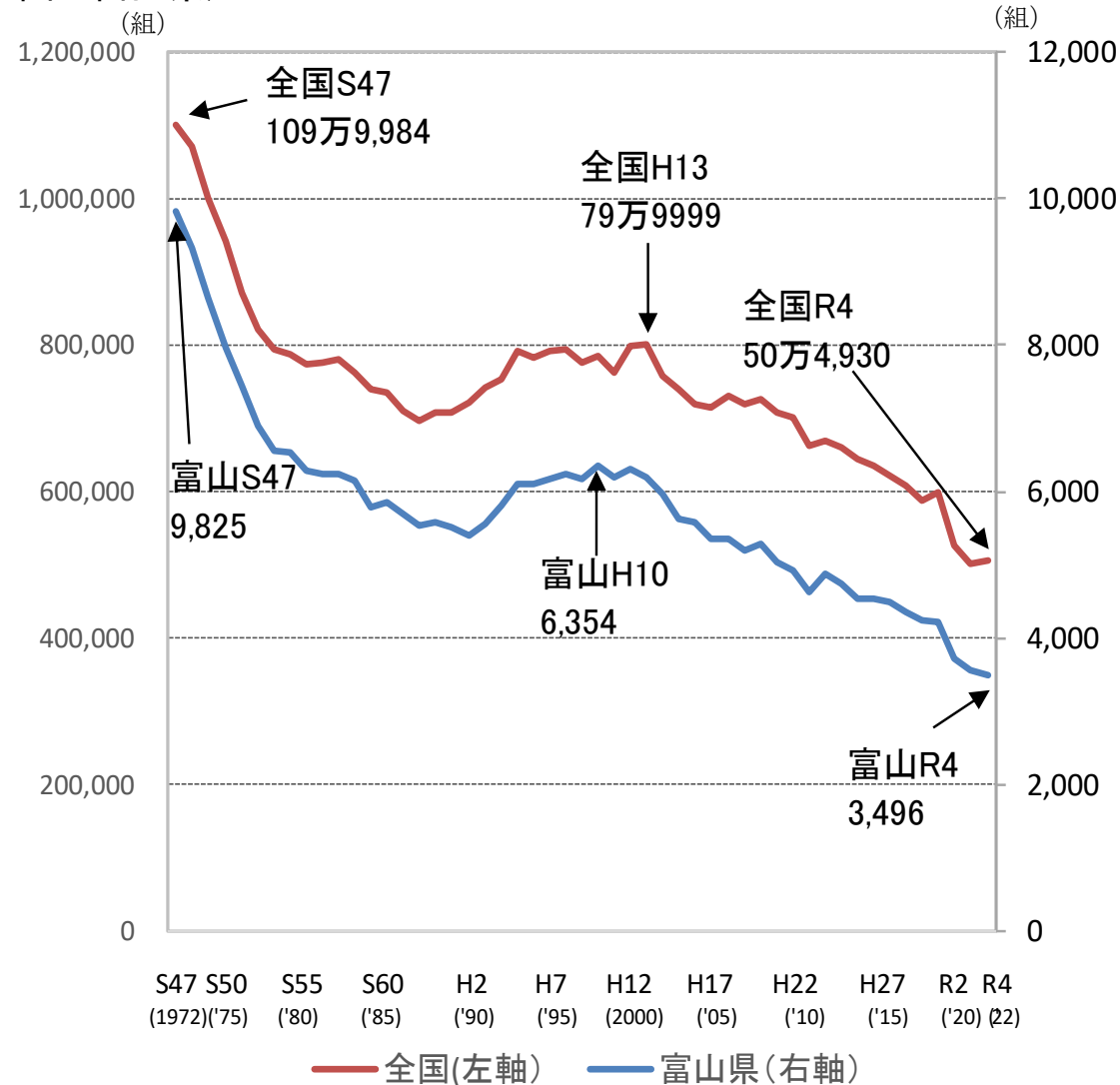


資料：人口動態統計(厚生労働省)

富山県における子育て支援・少子化対策に関する現状等（概要）

○本県の婚姻件数（図2）は、近年では平成10年をピークに減少傾向にあり、令和4年には3,496組と過去最少となっている。

図2 婚姻件数の推移（全国・富山県）



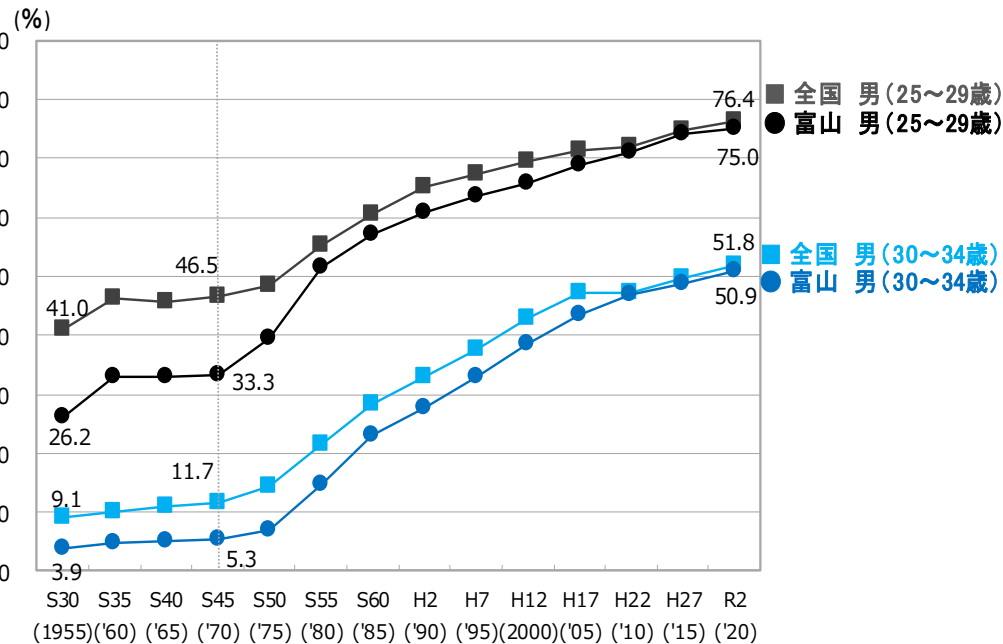
資料：人口動態統計（厚生労働省）

富山県における子育て支援・少子化対策に関する現状等（概要）

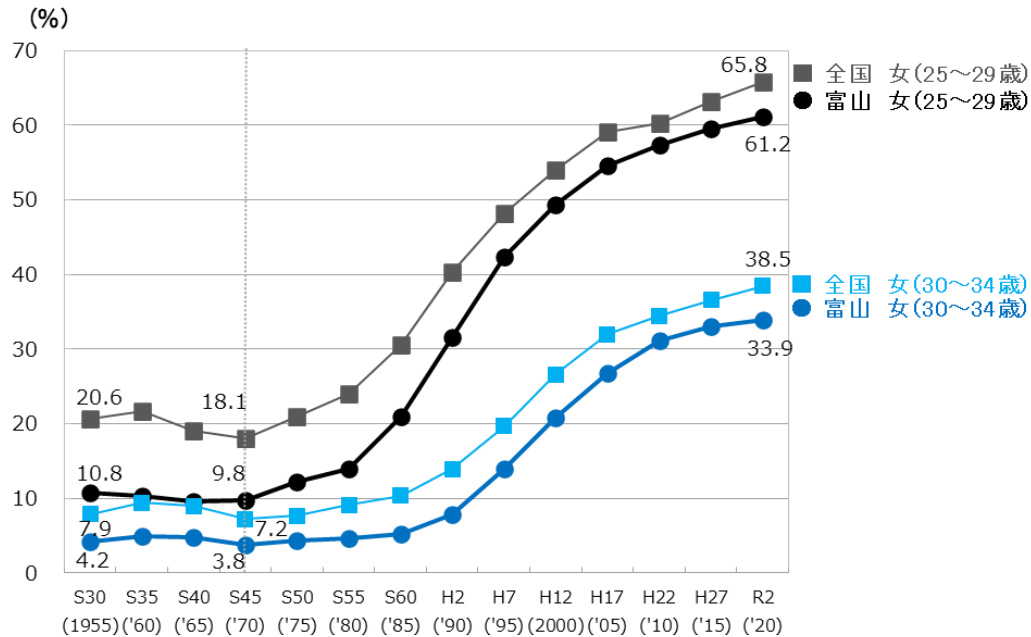
○男女ともに、25～29歳、30～34歳の未婚化が進んでおり（図3）、令和2年には男性の25～29歳、30～34歳の未婚率はそれぞれ75.0%、50.9%、女性の25～29歳、30～34歳の未婚率はそれぞれ61.2%、33.9%となっている。

図3 男性・女性未婚率の推移（全国・富山県）

<男性未婚率の推移>



<女性未婚率の推移>

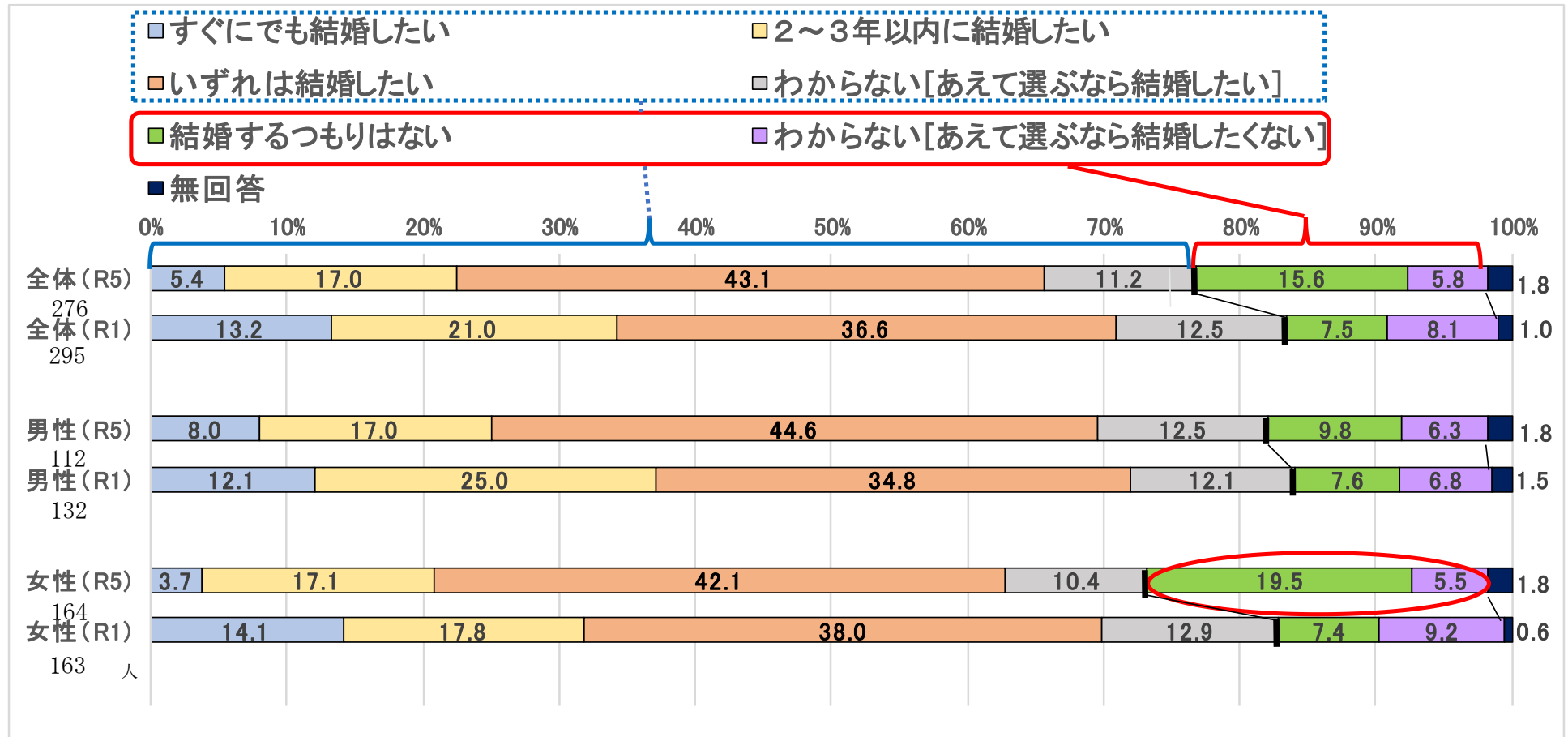


資料：国勢調査（総務省）

富山県における子育て支援・少子化対策に関する現状等（概要）

○「結婚するつもりはない」・「あえて選ぶなら結婚したくない」と考えている人の割合（図4）は、増加している。

図4 独身男女の結婚に対する意識（富山県）



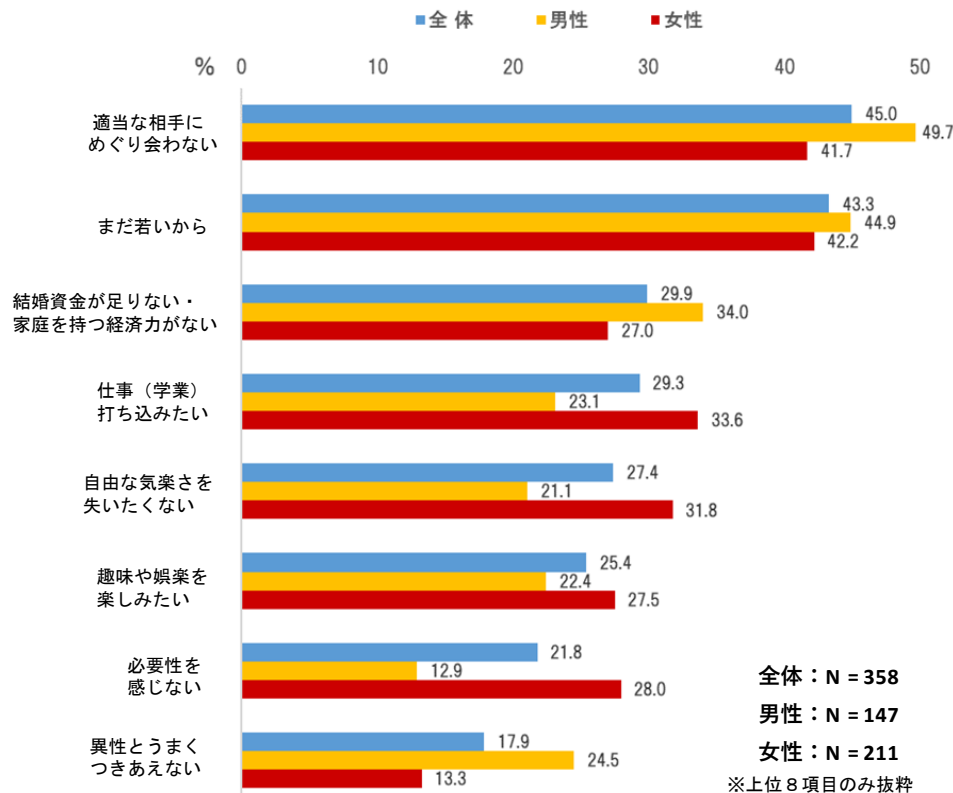
資料：結婚等に関する県民意識調査（R5富山県）
 （対象：18～39歳の男女）
 ※調査対象（18～39歳）のうち20歳以上のみを抽出し、前回調査と比較

富山県における子育て支援・少子化対策に関する現状等（概要）

○現在結婚していない理由（図5）は、全体では「適当な相手にめぐり会わない」が最も高く、次いで「まだ若いから」、「結婚資金が足りない・家庭を持つ経済力がない」となっている。

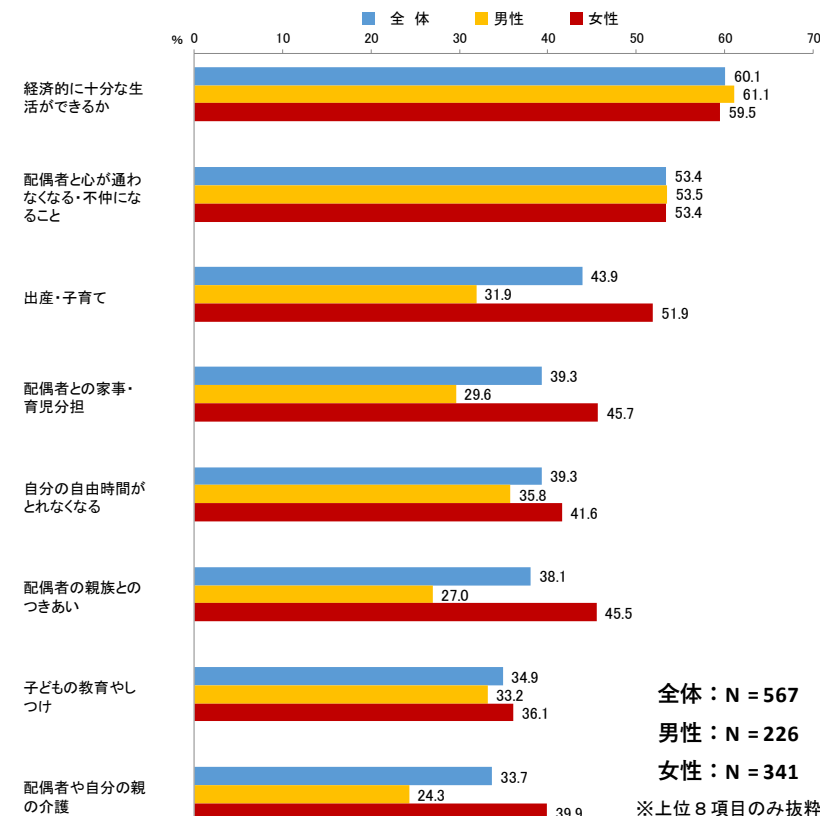
○結婚生活を送っていくうえでの不安（図6）は、全体では「経済的に十分な生活ができるか」が最も高くなっており、女性の「出産・子育て」「配偶者との家事・育児分担」「配偶者の親族とのつきあい」「配偶者や自分の親の介護」が男性と比べて高くなっている。

図5 現在結婚していない理由（富山県）



資料：結婚等に関する県民意識調査（R5富山県）
（対象：18～39歳の男女）
※上位3つまで理由を選択

図6 結婚生活を送っていくうえでの不安（富山県）

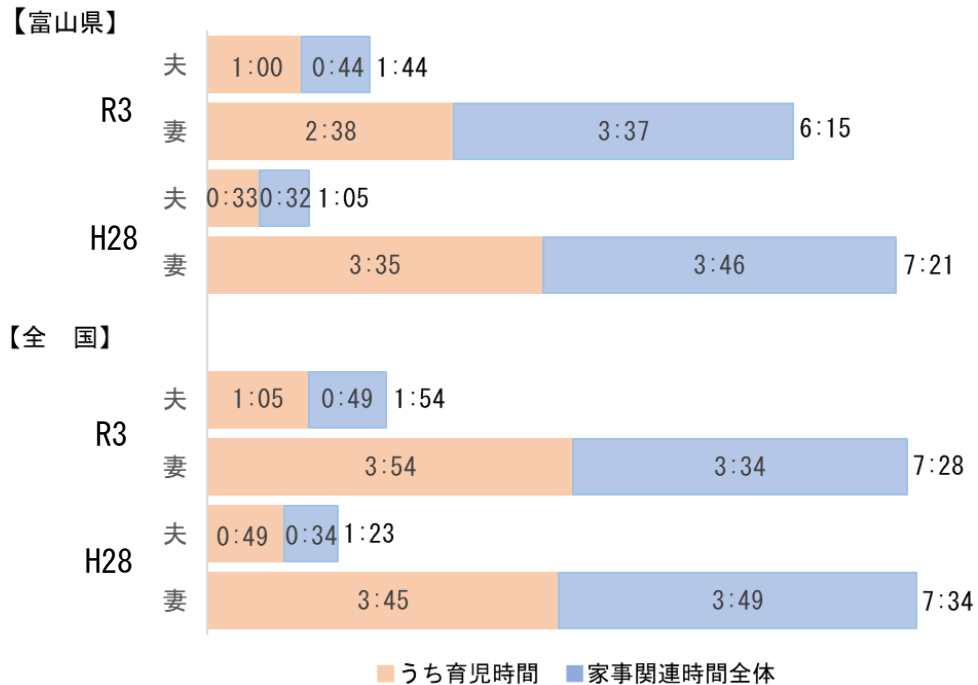


資料：結婚等に関する県民意識調査（R5富山県）
（対象：18～39歳の男女）
※複数回答

富山県における子育て支援・少子化対策に関する現状等（概要）

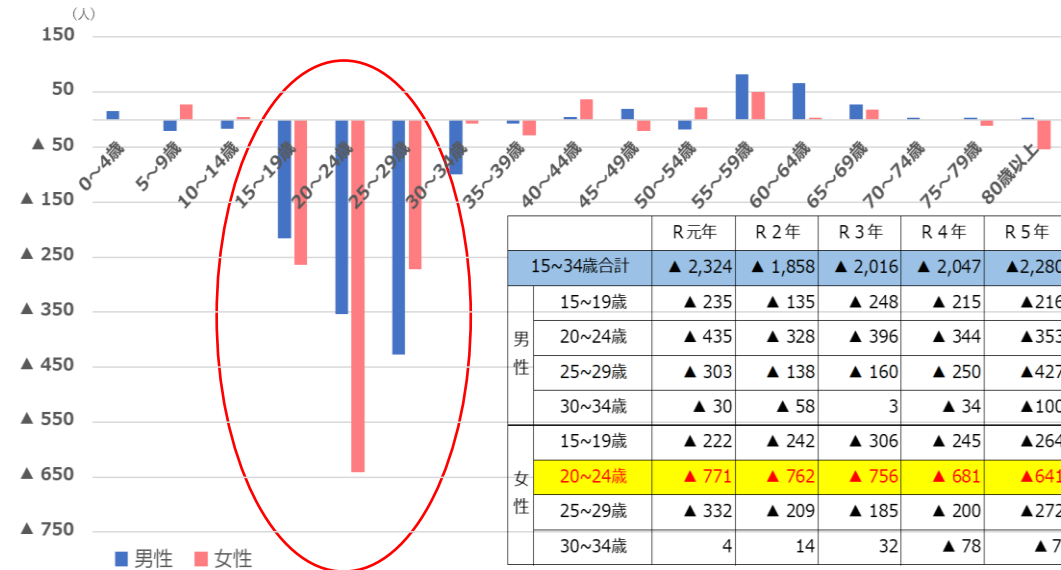
○夫の家事関連時間が短く（図7）、社会移動（図8）は若い世代（15歳～34歳）の社会減が大きい状態が続いている。

図7 6歳未満児のいる夫婦の家事関連時間（1日あたり）（全国・富山県）



資料：社会生活基本調査（総務省）

図8 年齢（5階級）別社会動態（富山県）
※R5年（R4.10.1～R5.9.30）、日本人のみ

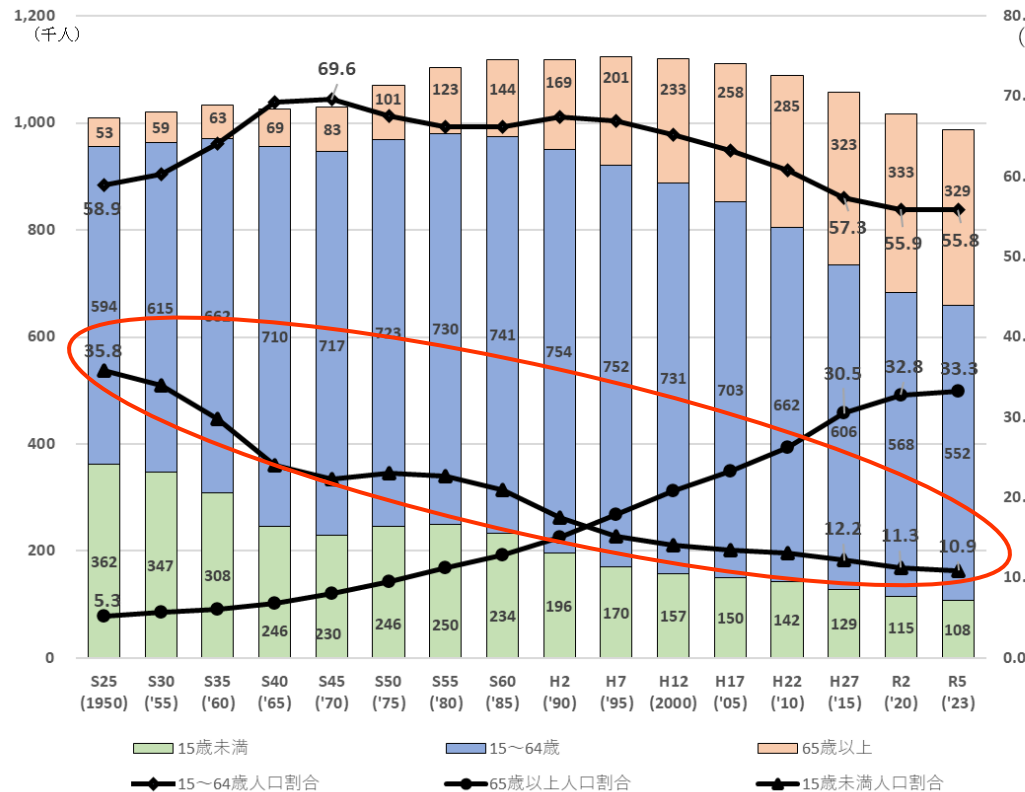


資料：人口移動調査（富山県）

富山県における子育て支援・少子化対策に関する現状等（概要）

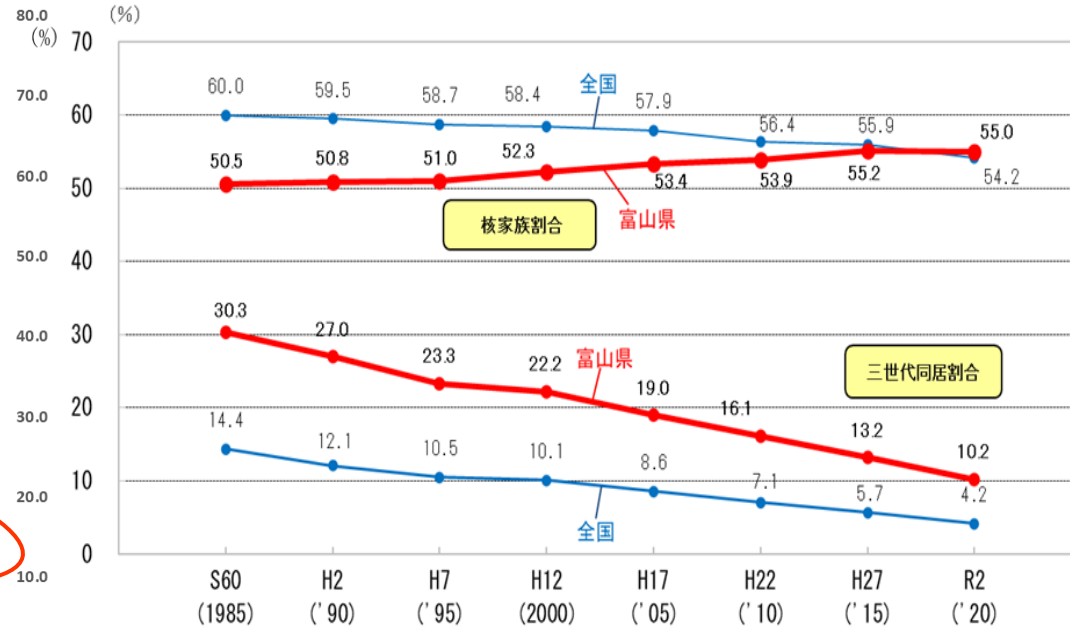
〇15歳未満のこどもの割合（年少人口割合）（図9）は減少傾向にあり、三世帯同居世帯の割合（図10）は年々減少している。

図9 年少人口割合及び老年人口割合の推移（富山県）



資料：国勢調査（総務省）、人口移動調査（富山県）

図10 三世帯同居世帯比率及び核家族世帯比率の推移（全国・富山県）

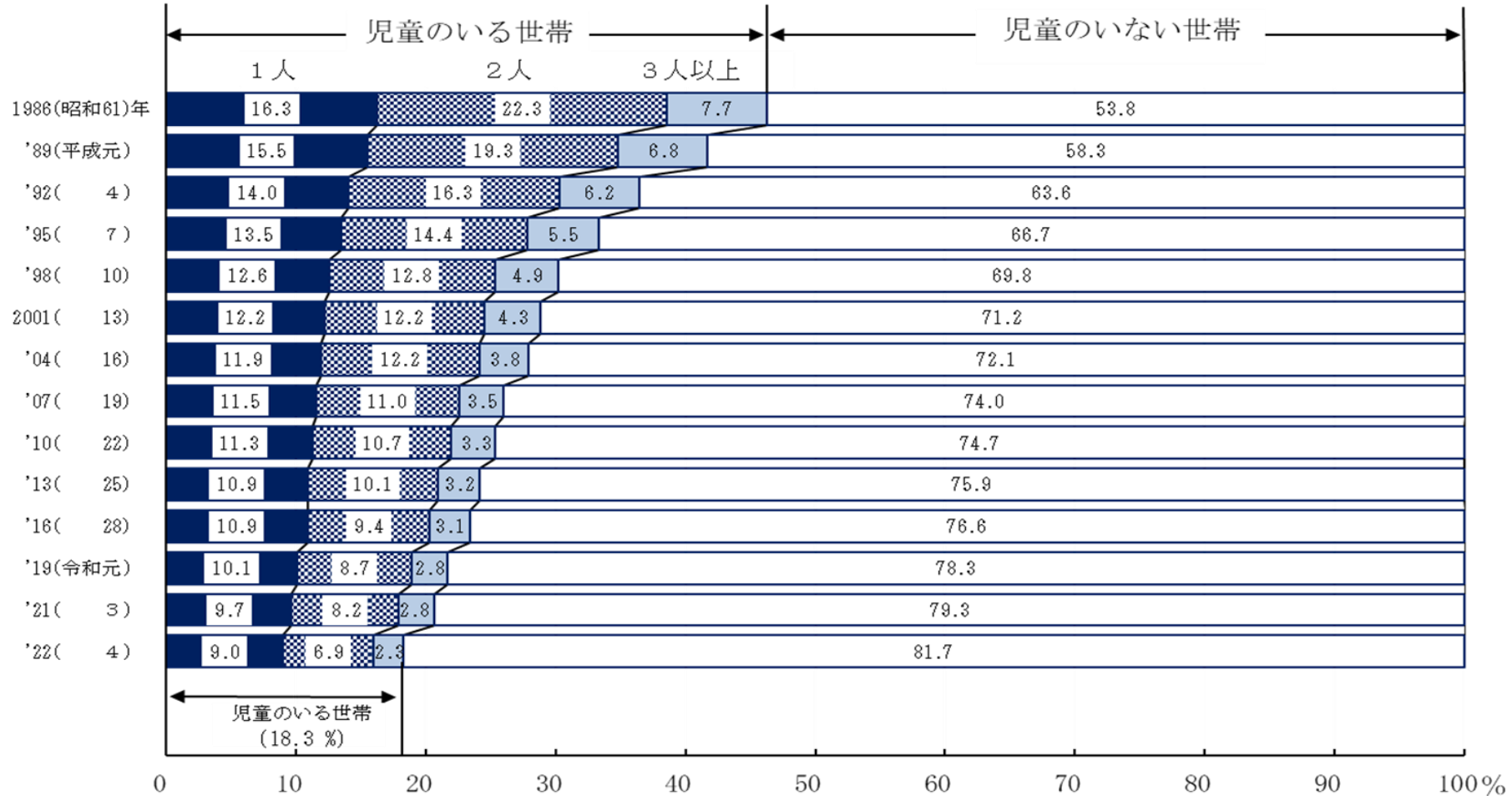


資料：国勢調査（総務省）

富山県における子育て支援・少子化対策に関する現状等（概要）

○児童のいる世帯数の割合（図11）は年々減少している。

図11 児童のいる世帯数の年次推移（全国）



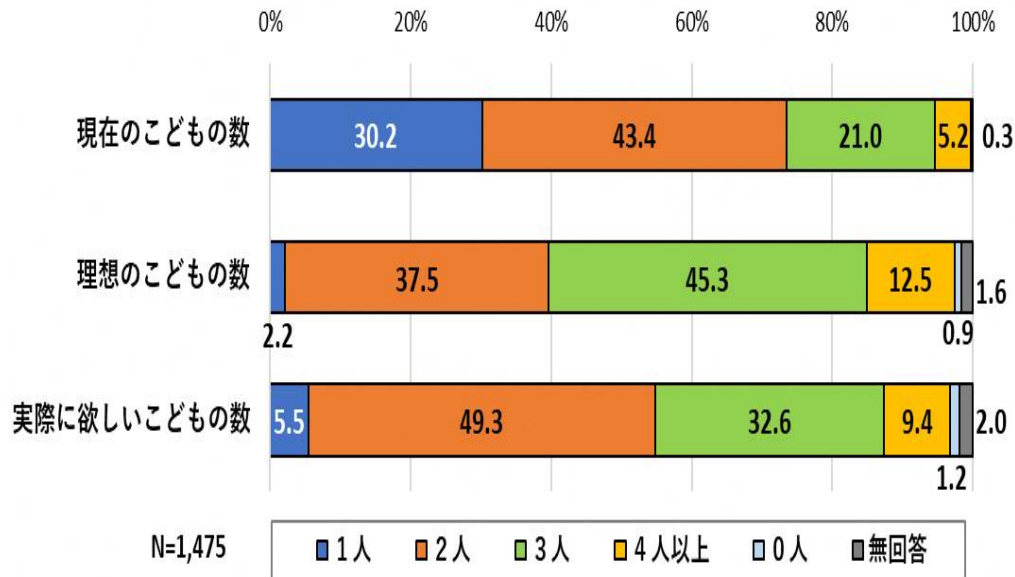
- 注：1) 1995(平成7)年の数値は、兵庫県を除いたものである。
 2) 2016(平成28)年の数値は、熊本県を除いたものである。
 3) 2020(令和2)年は、調査を実施していない。

資料：国民生活基礎調査（厚生労働省）

富山県における子育て支援・少子化対策に関する現状等（概要）

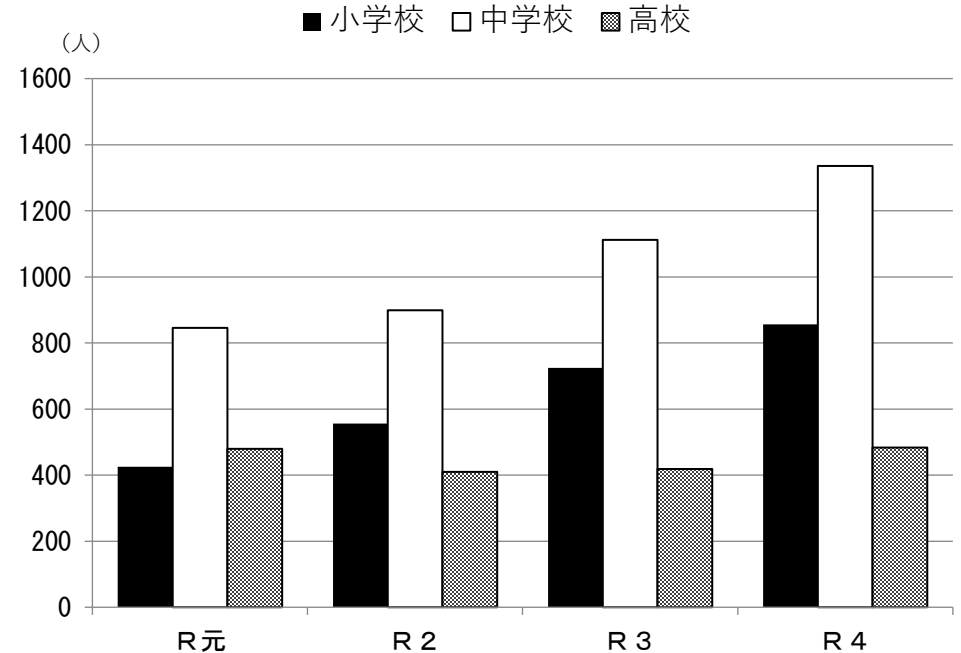
- 理想のこどもの数は「3人」、実際に欲しいこどもの数は「2人」の割合が最も高くなっている（図12）。
- 不登校児童生徒数（図13）は増加傾向にある。

図12 理想と実際に欲しいこどもの数（富山県）



資料：子育て支援サービスに関する調査(R5富山県)
 (対象：県内の未就学児又は小学生を持つ保護者)

図13 不登校児童生徒数（富山県）

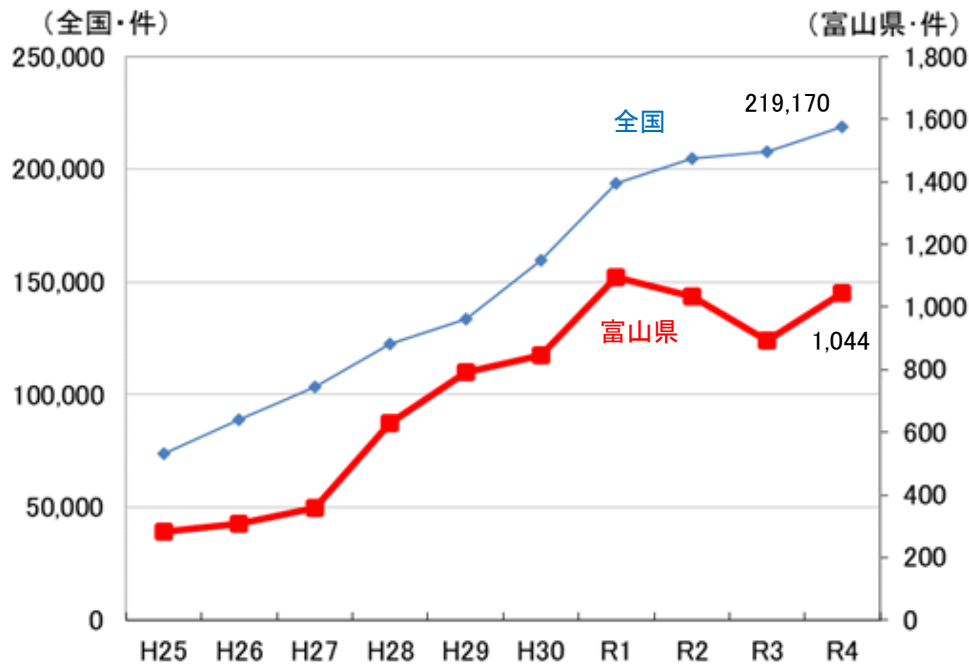


資料：児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査（文部科学省）

富山県における子育て支援・少子化対策に関する現状等（概要）

- 児童虐待相談対応件数（図14）は増加傾向にある。
- こどもが安心して過ごすことができる「こども食堂」の箇所数（図15）は年々増加しており、こども食堂の利用ニーズが高まっている。

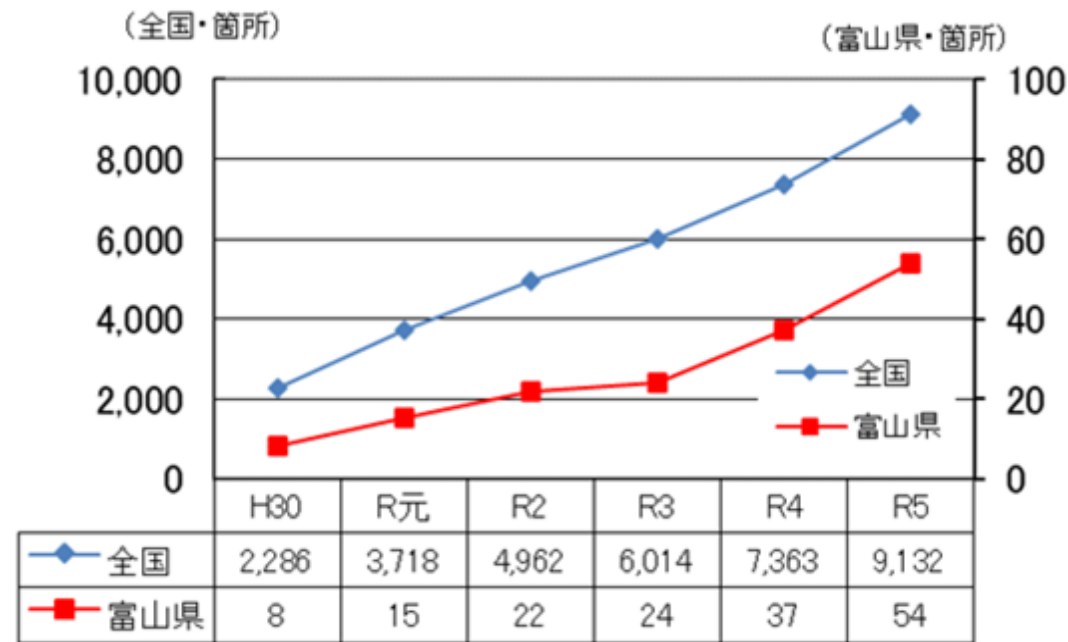
図14 児童相談所における児童虐待相談対応件数（富山県）



※相談対応件数は、児童相談所が相談や通告を受け指導や措置を行った件数で、結果的に虐待と認められなかったものを含む。

資料：児童相談所における児童虐待相談対応件数
（こども家庭庁・富山県）

図15 こども食堂の箇所数（全国・富山県）



資料：認定NPO法人全国こども食堂支援センター・むすびえ調べ